

各位

会社名 BBDイニシアティブ株式会社
 代表者名 代表取締役社長 グループ CEO 稲葉雄一
 (コード番号 5259 東証グロース)
 問合せ先 取締役 グループ CFO 佐藤幸恵
 (TEL 03-5405-8120)

**通期連結業績予想と実績との差異及び
 その他の収益の計上並びに減損損失の計上 (IFRS) に関するお知らせ**

2024年11月14日に公表いたしました2025年9月期(2024年10月1日~2025年9月30日)の業績予想と本日公表の決算値に差異が生じたので、下記のとおりお知らせいたします。また、「その他の収益」及び「減損損失」を計上することとなりましたので、あわせてお知らせいたします。

記

1. 通期連結業績予想と実績の差異について

(1) 2025年9月期連結業績予想 (IFRS) と実績値との差異 (2024年10月1日~2025年9月30日)

	売上収益	営業利益	親会社の所有者に 帰属する当期利益	基本的1株当たり 当期利益
	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想 (A)	4,700	355	215	40.75
実績値 (B)	4,399	△351	△377	△60.60
増減額 (B-A)	△301	△706	△592	-
増減率 (%)	△6.4	-	-	-
(参考) 前期実績 (2024年9月期)	4,127	285	164	31.22

(2) 差異の理由について

① 売上収益

DX事業セグメントにおいて、生成AIネイティブアプリに進化した「Knowledge Suite + (ナレッジスイートプラス)」の提供を第4四半期より順次サービスリリースし、既存顧客へのクロスセルによる積上増収を見込んでおりましたが、既存顧客への販売体制構築の遅れにより販売開始時期がずれ込んだことにより、当期中の売上増加に寄与することができませんでした。また、BPO事業セグメントにおいては、IT人材の確保と教育を強化し、高単価かつ高採算のプロジェクト案件の獲得に成功し、当該セグメントの売上収益は見込みどおりとなりましたが、DX事業セグメントの補完をできず、売上収益は当初計画を下回りました。

② 利益等

主にM&Aにより生じたのれん及び連結子会社における無形資産の減損損失に伴う特別損失を計上したことにより、計画を大幅に下回りました。

当社は、2025年8月14日公表の「株式会社ヘッドウォータース (以下、ヘッドウォータースとい

う。)との資本業務提携並びに主要株主である筆頭株主及びその他の関係会社の異動に関するお知らせ)のとおり、ヘッドウォータース社との業務提携を皮切りに、中堅・中小企業を支援する「DX (デジタルトランスフォーメーション) から「AX (AI トランスフォーメーション) 」に大きく舵を切りました。「From SaaS to AI-as-a-Service (ソフトウェア提供型サービスから AI 提供型サービスへ) 」へシフトし、従来の「機能提供モデル」から「顧客が蓄積する利用データを AI 学習資産として活かすモデル」へ大きく事業モデルを変革することを決めました。それに伴い、顧客資産となる利用データの蓄積が難しいサービス・事業、及び「AI as a Service」に関連しない SaaS プロダクトまたはサービスからの撤退を行うため、該当する事業の減損損失を計上いたしました。

2. その他の収益の計上 (IFRS) について

当社の連結子会社であるブルーテック株式会社及び株式会社アーキテクトコアは、社員向けの AI リスキリング研修及びプログラミング研修の実施に伴い、東京都労働局より「人材開発支援助成金 (事業展開等リスキリング支援コース) 」及び「人材開発支援助成金 (人への投資促進コース) 」に係る助成金を受領しております。

なお、2025 年 9 月期の個別決算において計上された特別利益は総額 175 百万円であり、連結決算においてその他の収益として計上しております。

3. 減損損失の計上について

(1) のれんの減損損失の計上について (連結決算)

国際会計基準 (IFRS) に基づく減損テストをした結果、インサイドセールス支援サービスを展開している当社の連結子会社である株式会社 RocketStarter において、BBD イニシアティブグループの事業方針の変更を踏まえ、将来の回収可能性を慎重に検討した結果、買収当時ののれんの評価に変更が必要と判断し、減損損失を計上いたしました。

当該減損額は 215 百万円としております。

(2) 無形資産の減損損失の計上について

当社の連結子会社であるブルーテック株式会社 (以下、ブルーテック社) は、自社提供のソフトウェアの開発等に係る無形資産のうち、ビジネスチャットサービスに係る当該資産について、BBD イニシアティブグループの事業方針の変更を踏まえ、当該ソフトウェア資産の将来収益の計画に大幅な変更が生じ、減損損失を計上いたしました。

また、当社の連結子会社であるブーストマーケティング株式会社は、自社提供の動画配信コンテンツに係る無形資産計上額を BBD イニシアティブグループの事業方針の変更を踏まえ、減損損失を計上しております。

以上の 2025 年 9 月期の個別決算において計上された減損損失は総額 515 百万円であり、連結決算において減損損失として計上しております。

なお、ブルーテック社は今後も BBD イニシアティブグループの事業方針に基づき、顧客資産となる利用データの蓄積が可能なソフトウェア開発を行う方針であるため、これに関連する開発費用は今後も生じるものと見込んでおります。

以 上